

2018JR総連春闘を職場から闘おう!!

第28回定期地本委員会開催

私たちJR東海労名古屋地本は、名古屋金山アビタンにおいて第28回定期地本委員会を開催し、2018JR総連春闘を職場から闘うための取り組みを確認しました。

春の闘いは5つの課題で

山田地本委員長から春の闘いの中心となる5つ課題が提起されました。

第一にJR総連の仲間と共に春闘を闘う。具体的にはベア6,000円満額獲得、定期昇給一律6,000円獲得、定期昇給の経年減額反対、夏期手当3.5ヶ月、そして格差ベアに反対。第二に平和と人権、民主主義を守る闘い。第三には安全の確立の闘い。第四は年休完全取得の闘い。そして第五は苦勞した者が報われる会社作りなど闘いの具体的な方針が打ち出されました。

とりわけ、制輪子脱落、燃料漏れ、『特急南紀』台車損傷そして『のぞみ34号』の台車の亀裂など、最近発生した様々な事象は安全を根底から脅かすもので看過できるものではありません。賃上げの闘いと同時に安全確立の取り組みも強化してゆく決意が述べられました。さらに来賓の木下本部書記長はじめ、名古屋地本OB会中村事務長、鉄道ファミリー加藤営業担当部長らから挨拶を受けました。



闘いは職場から



つづいて執行部からの方針の提起があり、参加した組合員からは職場での取り組みや新たに導入されたタブレット端末、駅業務などで発生している様々な問題点が報告されました。

多くの職場からの意見を基に執行部から答弁がなされ方針の中身がより一層強化されました。最後に荻野書記長から総括答弁をうけ、山田地本委員長から力強い団結ガンバローで委員会を終了しました。